

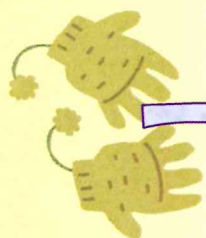
ももとせ

(意味) 百歳

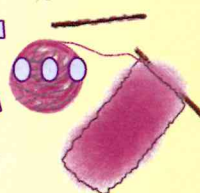


昔は子どものために編み物をしたというお話をよく利用者の皆さんから聞きます。今も、ひ孫や孫のためにと編み物に取り組まれている方がいらつしやいます。

お一人は、孫のためにと、うららでも空いている時間を見つけては、編み物を使っています。棒針を使って模様編みも上手に仕上げておられました。



一目一目に思いを込めて



もうお一人は、三月と十月に産まれたひ孫のために上着を編んで送ってあげるとお話を聞かせて下さいました。十月に産まれた女の子はまだハイハイもしないので、ゆりかごに寝かせる時にきかせてあげればどうかと、ケープを編んだそうです。

少しずつ完成していく楽しみを感じながら編み進めていく時間は、とても有意義ですね。うららにも道具は揃っていますので、これから午後の時間を利用してやりたい方がいらつしやれば、一緒に楽しみませんか。



輝子さんは利用当初から歩いてトイレに行きたいと強い希望があり、リハビリでは体力をつけるとともに手を取って歩く練習を行ってききました。

リハビリだけでなく、お友達との交流や大好きな歌の会への参加により、笑顔も増えました。はじめは車椅子で一日過ごしていましたが、現在は歩行器で施設内を移動できるまで体力や歩く力がつきました。現在もお家でご家族に手を取ってもらいながらトイレまで歩いています。「孫に歩くの上手になつたねと褒められた」と嬉しそうに話されていました。

これからもご家族の協力を得ながら、輝子さんが自宅で楽しく過ごしていけるようお手伝いしていきます。

(作業療法士 高橋友美)



私のリハビリ紹介
梅津輝子さん



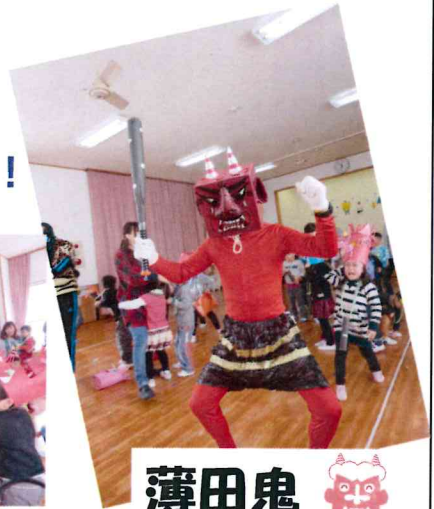
鬼は外 福は内



運転手さんが保育園の節分行事で活躍しました！



久松鬼



薄田鬼



編集後記

私も母が編んでくれた名前入りのセーターを小さい頃よく着ていました。私もお腹が大きかった時ケープを編みました。ご紹介したお二人の気持ちも、ちよつと大きなお母さんですね。手編みの物は心がこもっている分、暖かさが違いますね。(土井尚子)

ハッピーバースデー♪

富樫文夫さん



3月15日生まれ

北海道の炭鉱町、歌志内で育った。冬は凍り付くほど寒いのが、家中では半袖で過ごした。国鉄に入り、親父の故郷酒田に戻ってきた。

